



市内初！

きょうと里親支援・ショートステイ事業拠点の開設及び「養育里親」の愛称決定について ～すべての子ども・子育て家庭の笑顔があふれるまちを目指して～

京都市では、すべての子ども・子育て家庭の笑顔を大切にするため、「京都市はぐくみプラン」に基づき、様々な子育て支援施策に取り組んでいます。中でも、親元を離れて暮らす子どもたちの養育環境を確保するための「里親委託の推進」と、子育て家庭の一時的な休息のための「ショートステイ事業の推進」は、最重要施策の一つとしています。

この度、里親の訪問支援や相互交流を行うとともに、ショートステイ事業も実施することにより、身近な地域で子どもと子育て家庭を支える「きょうと里親支援・ショートステイ事業拠点」を10月1日に開設しますので、お知らせします。

また、里親月間である10月を契機として、特に充実が求められる「養育里親」について、多くの方に親しみをを持っていただき、なじみ深いものとするとともに周知を図るため、一般公募により愛称を決定しましたので、併せてお知らせします。

記

1 きょうと里親支援・ショートステイ事業拠点の開設

(1) 目的及び機能

ア 目的

本市における里親支援やショートステイ事業は、これまでから児童養護施設等が実施してきましたが、施設が偏在しており、市全体で見れば、身近な地域での対応に課題がありました。

このため、施設等の不所在区を対象として、以下の機能を総合的に実施することにより、対象地域^{(2)参照}の里親家庭や子育て家庭を支えるものとします。

イ 里親支援機能

里親等^(※)に対し、訪問による相談や身近な地域に所在する拠点において里親同士の相互交流等の支援を行うことにより、里親の養育能力の向上や支援ノウハウの共有化等を図ります。

※ 里親等：里親及びファミリーホームを運営する事業者

ウ ショートステイ機能（定員6名）

病気や育児疲れ等により、家庭での児童養育が一時的に困難な場合に利用できるもの。身近な地域にショートステイ実施場所を確保することにより、対象地域に居住する市民の利便性を高め、幅広い市民の利用を促進します。

(2) 対象地域

児童養護施設等が所在していない以下の地域
中京区・下京区・南区・伏見区

(3) 実施場所等

住 所：下京区下長福寺町264

(阪急大宮駅より徒歩10分/JR丹波口より徒歩9分/バス停大宮五条より徒歩5分)

開 設 日：令和2年10月1日(木)

開 所 時 間：平日・土曜・祝日は9時～21時

日曜は9時～17時

規 模：ショートステイ 2部屋

事務室 1部屋, 交流スペース1部屋

スタッフ6名(予定)

お問合せ先：

○里親養育に関すること

…きょうと里親支援・ショートステイ事業拠点

○ショートステイの利用相談

…お住まいの区役所・支所子どもはぐくみ室

運営事業者：社会福祉法人積慶園



(4) 今後の展開について

当該拠点における事業効果を踏まえ、新たな拠点の設置を検討します。

また、ショートステイ事業については、今後も拡充を図ります。

2 「養育里親」の愛称「はぐくみさん」の決定

(1) 愛称募集の経過

多くの方に親しみを持っていただくことで「里親制度」がなじみ深いものになることと、特に一人でも多くの市民の方に「養育里親」になっていただき、里親制度の更なる充実が図られることを目的として一般公募を行いました。

公募期間：令和2年6月19日(金)～同年8月7日(金) (50日間)

応募総数：456点

選定方法：里親支援機関などの関係者による意見聴取等を踏まえ、選定

(2) 普及啓発活動

「里親制度」について多くの市民の方々に理解していただき、身近に感じてもらうため、商業施設や区役所等での里親登録相談会の実施とともに、新たに作成する本市独自のポスター(参考2)やテレビ・映画館CM(参考3)を活用して、「一人でも多くの方に里親になりたい」と思っていただけのような啓発活動を実施します。

「養育里親」とは？

様々な事情により本来の家庭で暮らせなくなった子どもを、保護者が子どもを引き取るようになるまで、または、子どもが自立するまでの一定期間、自分の家庭で養育する里親
他の里親と同様、心身ともに健康であり、子どもの養育について理解や熱意等がある等の要件を満たせば、子育て経験がなくても、必要な研修を受ければ、里親として登録することが可能です。

また、受入れ後、子育てに悩んだ場合は、今回設置する拠点等で相談することができます。

制度概要等について

1 里親制度について

(1) 概要

本市では、親御さんの病気など、様々な事情により本来の家庭で暮らせなくなった子どもたちを自らの家庭に迎え入れ、温かい愛情と正しい理解を持って養育して下さる里親が活躍されています。里親には以下の4つの種別があります。

- ① 養育里親：実親が育てられるようになるまでの間等、一定期間養育する里親
- ② 専門里親：専門的な援助が必要な子どもを養育する里親
- ③ 親族里親：両親以外の扶養義務者が養育する里親
- ④ 養子縁組里親：養子縁組によって養親となることを希望する里親

(2) 登録及び委託状況（令和2年3月末日時点）

種別	登録里親（世帯）	委託中里親（世帯）	委託児童（人）
①養育里親	93	20	21
②専門里親	10	5	6
③親族里親	18	18	25
④養子縁組里親	76	4	4
合計	137（※）	47	56
ファミリーホーム	2施設	2施設	3

（※）複数種類の里親に登録している場合があるため、各里親の合計と合計欄の数値は一致していません。

2 ショートステイ事業について

(1) 概要

児童を養育している家庭の保護者の方が病気、出産、冠婚葬祭、出張、育児疲れなどの理由で、家庭における児童の養育が一時的に困難となった場合に、その児童を一時的に養育する事業

(2) 令和元年度実施施設

施設種別	施設名	所在区	専用スペースの有無
乳児院	乳児院積慶園	西京区	無
	平安徳義会乳児院		無
児童養護施設	積慶園	西京区	無
	平安徳義会養護園		無
	平安養育院	東山区	有
	つばさ園	西京区	無
	京都聖嬰会	北区	無
	和敬学園	上京区	無
	迦陵園	左京区	無
母子生活支援施設	ヴェインテ	山科区	有

ポスターデザイン（イメージ）

里親が育てる。
社会が支える。
子どもたちの今と未来のため、社会のあらゆる場で
「京都はぐくみ憲章」を実践しましょう。

気づけば
みんな、
笑顔
でした。

さまざまな
里親
のかたち。

短期のお預かり。週末里親

委託期間は多様！養育里親

法的な親子関係。養子縁組里親

京都市では養育里親を「はぐくみさん」という愛称で呼んでいます。

子育て経験のない方もご相談を！ 必要な養育費・医療費は支給されます。



京都市子ども若者はぐくみウェブサイト
<https://www.kyoto-kosodate.jp/>
 子ども若者はぐくみウェブサイト



京都市児童相談所に直接お問い合わせください。
 ☎075-801-2929 FAX:075-822-4175



テレビ・映画館CMイメージ (15秒)

「お母さん」と
声を掛けると



「お母さん」と
声を掛けると
「なあに？」と
答えてくれる。



「お母さん」と
声を掛けると
「なあに？」と
答えてくれる。
その当たり前が
嬉しかった。



血のつながりはなくても、



146万分の1の出会い。

知ろう、
里親制度

京都市 はぐくみさん

里親が育てる。
社会が変わる。



養育里親の愛称について

応募総数456点のうち、一次選考を通過した35点を掲載

名 称	込められた思い（記載のまま）
はぐくみさん	愛情をもってあたたかく「はぐくみ」をしている養育里親に敬意を込めて、「はぐくみ」＋「さん」とした。
京 ^{きょう} ほっとファミリー	たまたま難しい環境に置かれた子どもに「少しでもほっとしててもらいたい」。養育里親になる方々は、そんな思いかと想像しました。
はぐのて	ハグ（抱きしめる）／はぐくむ／手から、ハグするように大切に子どもたちをはぐくむ、安心できる大きな手のような家庭
さぼおや	子どもの成長をサポートする、また親へのサポートでもある。このことからサポートする親という意味を含めました。里親と音も似ていることから覚えやすいものを考えました。
ほっこりさん	安心して、しっかり包んでもらえる。そんな方をやさしい表現で表しました。
ふおすたん	里親という意味のフォスターを、可愛らしく親しみを込めた呼び名です。親ではなく、社会全体で子どもたちを支えられる仕組みの中で、温かみを感じられる家庭のかたちであって欲しい。
コトオヤ	子と親、古都親。京都らしさ、里親が伝わるシンプルな名称にしました。
みやこファミリー	京のイメージとしてふさわしい「都」＋「ファミリー」より。養育里親の愛称を温かさが伝わり優しさが感じられる名称として、親しみやすく命名
ゆいホーム	里親さんと温かい愛の糸を結う思いを込めて
ほっとファミリー	<ul style="list-style-type: none"> ・温かくホットできる家族。それが子どもの願いであろう！ ・一時でもホッとするホットな（暖かい）家族という意味を込めました。
とまり木	実の家族の元を一時的に離れる子どもが、頼ることができる場所、安心できる家となってほしい。
ひなた	日の当たる場所。そんな場所を子どもたちは探しているのではないのでしょうか。特に何をしてほしいというわけではなく、ただ温かい。そんな場所が必要なのだと思います。一緒に話して、一緒に笑って、一緒にいるだけで心温まる場所であってほしい。
そだてーる	「育てる」＋子どもたちに「エール」を送るより。養育里親の愛称を親しみやすく命名
HUGファミリー	育むの「はぐ」と、抱きしめるの「ハグ」をかけている。子どもたちが、抱きしめるようにはぐくみ育てられますように。
セカンドファミリー	家族の定義は血縁関係だけが全てではない。「里親制度」が特殊な制度であったり、単に社会貢献や一方的な善行として捉えられるのではなく、引き取り側も子ども達もお互いに心豊かになるよう、カタカナでダイレクトに表現した。
晴れる家！	「養育里親」と聞いた時、何となくネガティブな印象を受けてしまいがち。そうではなく、受け入れる側も、子どもたちも、明るい未来を築いていくイメージの明るいネーミングが良いと思う。周りを取り巻く人たちとも、愛のある関係の中で育てて欲しいという希望も込めた。晴れ渡る青空のような家（里親）という意味。

名 称	込められた思い（記載のまま）
かるがもファミリー	かるがものお母さんは、いつも子どもを見守り、安全なところに導いています。人間の子どものみんな見守られながら成長しなければならぬと思います。
ことファミリー	京都の代名詞である「古都」と、「子（児）と」の両方の意味をかけました。
つむぎ（さん）	子育ては、良いことも大変なことも、たくさんの思い出や絆を『紡いで』いると思います。養育里親として、大変な事、悩み、迷いの日々が続くかもしれません（続きそう。）。そんな毎日の積み重ねを『つむぎ』というフレーズに込められたら良いかと思いました。
ここふぁみ	心でつながるファミリー、愛情の心でつくりあげるファミリーを作り上げられるんだという意味を込めて付けました。親しみやすさを感じてほしくて、軽やかな語感にしました。
あゆみさん	<p>「社会的養育が必要な子ども達の人生をとものにあゆむ、彼らのこれまでの歩み（人生）に深い理解を示し、これからの人生を共に歩んでいく、彼らの実親を含めてあゆんでくれる人材」。</p> <p>以上の意味を込めて、また、市民に親しみやすく、呼びやすい呼び名をと思案しました。生活と育ちを保障するのはもちろんですが、それ以上に、社会的養育が必要に至った子ども達の、今までとこれからの姿をありのまま受け止め、共に歩んでほしいという願いを込めて。里親というものの形が社会的に変化してきている今、”親代わり”ではなく、社会と一体となって子どもを応援していく第一人者として、その役割を担ってほしいという願いを込めて。</p>
京都はぐ組	ハグと育みと組を掛け合わせました。里親と子の間だけでなく、街全体みんなで組になり、ハグをするように優しく育てていけたらと思いこの名前にしました。
ひなたぼっこ	里親さん（大人）と子どもがほっこりでき、互いが育ち合えることを願い、何気ないことを大切に！の思いを込めています。
オジバ	里親に「親」という文字があるために「子どもをとられる」と感じられる実親さんが委託を拒否されるケースがあると聞くため、「伯父伯母」をもじり、「親」のイメージを薄めることで、委託が好ましいお子さんの委託実現につながれば良いと思いました。
はぐたす	育む+足す（+）＝はぐたす。育てる、関わる人が増えるという意味、子どもにとってプラス（+）になってほしいという意味を込めました。また、「はぐ」は英語の hug でもあり、抱っこする、ハグするの意味があります。温かい愛情と理解を持って養育して下さる里親さんの活躍を表現しています。
はんなり家族	「はんなり」とは、上品で落ち着きがあり、明るさ、華やかさ、陽気さも併せ持つさまを表す言葉。代表的な京言葉の一つ（辞書より）。まさに里親家庭にピッタリの言葉を選びました。
こもれびファミリー	悠久の地・京都で豊かな葉を茂らせた揺るぎない大樹に、里親さんの姿を重ねています。陽の光を柔らかく注ぎ込ませながら、子どもたちが芽吹き育っていくのを慈しむ様子をイメージしました。

名 称	込められた思い（記載のまま）
きょうりょく家族	<p>実の親の方が育てられるようになるまで、又は子どもが社会的に自立できるようになるまでの一定期間を養育する京都市養育里親の愛称ということで、力を合わせて協力して子どもを養育するというメッセージを込めて、「きょうりょく」という言葉に想いを込めました。また、「きょうりょく」は「京」の音を含む言葉であることで、京都の力で子どもを養育するという大きなメッセージも込めて、「きょうりょく家族」という愛称で、温かい愛情と正しい理解を持って養育して下さる「里親」さんの想いが感じられるように、多くの方に親しみを感じていただけるように、力強さと温かさが感じられる親しみやすい名前にしました。</p>
ゆめぽーと	<p>夢の「ゆめ」と、支援＝サポートの「ぽーと」、港の「ぽーと」を組み合わせ、子どもたちの夢をサポートする港をイメージして名付けました。</p>
あいぽーと	<p>愛の「あい」と、支援＝サポートの「ぽーと」、港の「ぽーと」を組み合わせ、温かい愛情を持って子どもたちをサポートする、子どもたちの港のような養育里親をイメージして、名付けました。</p>
TADaiMAM!	<p>次の3つの想いと意味を込めました。 1. 子どもたちが「ただいま！」と帰れる場所が増えること。 2. 養育里親の子どもたちを迎え入れる気持ち。 3. 愛とお母さんの存在。</p> <p>「TADaiMAM!」が少しでも多くのご家庭に届いて、子どもたちの温かな居場所が増えることを心から願います。</p>
ひだまりファミリー	<p>日だまりのように温かい愛情を持って子どもたちを迎い入れ、養育する養育里親を思い浮かべ、名付けました。</p>
はぐくみサポーターズ	<p>温かな愛情で寄り添い、子供たちが居心地良く過ごせ、健やかに育っていくよう支えてくれるサポーターであることを表しています。</p>
おこしやすホーム	<p>「おこしやす」を漢字で書くと「お越しやす」となる。これは遠方からわざわざ峠などを越えて来てくれた、初めての客に対する“ねぎらいの言葉”だという。虐待を受けた子どもたちをねぎらうあったかい場所になればという思いを込めて。</p>
ことホーム	<p>ことは古都を意味します。日本人の心のふるさとである古都、京都。里子たちにとっても、里親家庭がふるさとになればという思いを込めました。</p>